

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【施策名：(1)工事コストの低減 ③設計方法の見直し】

## 軌道スラブ形状の改良による製作コストの縮減

事業名：鉄道事業

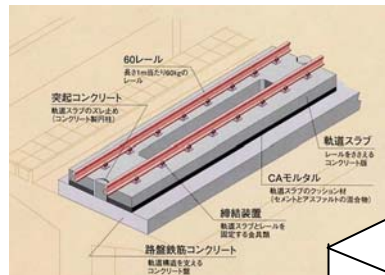
概要：軌道スラブ（レールを据え付けるコンクリートの板）の形状を立方体から丸みを帯びた

効果 形に改良。  
①軌道スラブ形状の改良により、軌道スラブ工場製作時の型枠脱却作業性向上  
②作業性向上により製作費105.3億円から87.5億円に減額  
(縮減額 17.8億円 縮減率 約16.9%)

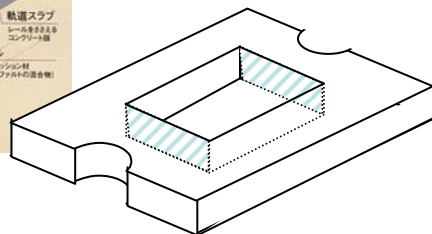
従来：

スラブ板の外枠及び内枠の形状が四角形をしている。スラブ板を破損させることなく作成するために、組立式型枠を使用することから、以下の作業工程が必要。

1. 型枠を組立て
2. コンクリートを注入
3. 型枠を取外し
4. スラブ板の取り出し



従来の軌道スラブ



改良後：

型枠の組立て、取外し工程を省略できるようにスラブ板の形状を丸みを帯びた形に改良。

形状が丸みを帯びているため、一体成型にコンクリートを注入して作成したスラブ板を破損することなく取り出すことが可能となり、作業性が向上。

改良後の軌道スラブ

